

ひがなかの子

令和 5年11月13日発行 第15号 文責 門田



* 「いじめ」と人権を考える集会

先月の人権参観日には、多くの保護者や地域の皆さんにお越しいただきありがとうございました。※当日の内容については、次号で詳しくご紹介いたします。

参観授業後の人権コンサートでは、講師のう～みさんから自身の持つ「絶対音感」や、負けず嫌いという性格が故に、周囲と溶け込めずひとりぼっちで過ごすことが多かったという子ども時代のお話がありました。10月末の朝会ではこのことを受け、子どもたちに「いじめ」について、話をしました（昨年度は、人権学習の一環として12月に行いました）。

東中筋小学校は、優しい子がとても多いと思います。しかし、気になることがないわけではありません。冗談半分とか軽い気持ちでした言動が、時として相手を傷つけていたり、知らないうちに相手を追い詰めていたり、辛い気持ちにしまったりすることがあります。そこで、本校では、「いじめ防止基本方針」（HPに掲載しています）に基づき、未然防止・早期発見・いじめへの対応を全教職員で取り組んでいます。

具体的には、日頃の見守りと共に、毎朝、タブレット端末のクロームブックを活用した「気持ちメーター」への打ち込み、「学校生活（いじめ）アンケート」（県様式）とQ-U（楽しい学校生活を送るためのアンケート）【いずれも年2回】と併行した個別面談（不定期の面談「ひとりじめタイム」もあります）を実施して、生活アンケートの結果は教育委員会に報告しています。

法的には、やっている子がいくら「ふざけ」のつもりでも、行為を受けた該当児童・生徒が「心身の苦痛を感じた」場合は、それは「いじめ」と定義されています。学校は、いじめられている子を全職員で守る



ホームページ用

と共に、いじめは人権侵害であり、犯罪行為として取り扱うケースもあるという認識のうえで、対応しています。

子どもたちには、これまで道徳や学活の時間、集会等を通じて、次の様なことを投げかけ、指導してきました。



①いじめは絶対に許されないこと

1学期「道徳意識調査」肯定的意見 100%

「いじめはどんな理由があっても、いけないことだと思う」（「そう思う」97.4%・「どちらかといえばそう思う」2.6%）

②「ありがとう」「ごめんなさい」「だいじょうぶ」など、ふわふわ言葉で優しさや思いやりのある言動がとれること

③困ったことがある時には、一人で悩まず親や先生などに相談することなど

1学期「学校生活アンケート」（東中筋小学校様式）

「先生は、話をよく聞いてくれますか」肯定的意見 100%

「先生に、悩み事を気軽に相談できますか」肯定的意見 94.7%

人権意識や人権感覚というものは、子どもたちに繰り返し言葉で伝えるだけでは身に付くものではありません。各学級をはじめ学校全体で、自らの大切さや他の人の大切さが認められていることを子どもたち自身が実感できるような機会や場面、状況等を意図的に設定することが重要



だと思えます。子どもたち自身が、「自分が一人の人間として大切にされている」という実感をもつことができた時に、自分や他の人を尊重しようとする意識が芽生え、人権感覚のある態度や考え方が育つものと考えます。

これからも全教育活動を通して、子どもたちの“優しさや思いやりの心”（相手の立場になって考える等）を育みながら、「いじめ」のない「誰もが笑顔で安心して過ごせる学校づくり」を教職員、そして、保護者や地域の皆様と共に手を携えながら推し進めていきたいと思えます。



笑顔いっぱい あいさついっぱい 元気いっぱい ひがなか小

○中央区（四万十市・三原村）小学校陸上記録会の開催
保護者の皆様、ご声援ありがとうございました！

10月16日（月）四万十市、三原村の5・6年生が、宿毛市総合運動公園陸上競技場に集い、これまで取り組んできた練習の成果を競い合いました。

今年度は、4年振りに2学年の合同開催となり、オレンジ色の鉢巻をきりりと巻いたひがなかつ子たちは、会場に駆けつけた保護者の方々からの熱い声援と期待に応え、個人種目での入賞や惜しくも賞を逃した選手の皆さんも、自己記録の更新等、持てる力を存分に発揮することができました。これも2学期から、朝練・夕練、体育の時間での練習を短時間ながらもコツコツと積み上げてきた努力の賜物だと思います。また、競技以外でも、挨拶や他校の仲間にもゴールするまで拍手のエールを送る態度は立派なものでした。何事にも精一杯、全力で取り組む子どもたちの姿には、心打たれるものがあります。選手の皆さん感動をありがとうございます！

また今年度も、中村西中学校にお願いをして、溝渕元校長先生や伊藤先生に放課後、学校に来て指導をしていただきました。ありがとうございました。

*小学校陸上記録会入賞者 おめでとうございます！

- ◆5年男子走り幅跳び 第3位 竹内さん
- ◆5年女子走り幅跳び 第4位 平田さん
- ◆6年女子ボール投げ 第3位 川田さん



はたのうのどうぶつたち

○うれしいお知らせ No.V

学校便り第13号に続き、今回は、8月と10・11月に高新「きょうの記者だより」に、掲載されたイラストと記事を紹介します。三木記者のイラストは、夏休み中であ

ったため報告が遅くなってしまいました。ごめんなさい。

10月「すぐくまかった」1年生 三木 心優記者

・お月見をしました。月を見ながら、わらびもちをたべました。おだんごがなかったから、わらびもちにしました。月は、くもでさいしょは見えなかったけど、あとから見えました。すぐくまかったです。いいお月見でした。



11月「米名人になれるかな？」3年生 平田 花心記者

・10月2日、上原さんの田んぼでいねかりをしました。上原さんは米作りのたつ人です。かるのもすぐ上手でした。米作りは「八十八の手間」と言うそうです。その言葉を上原さんから聞いた時、すぐく大へんだと分かりました。わたしは、上原さんのような米名人にはなれないなと思いました。だけど、ちょっとなってみたい気もちもあります。二人とも、おめでとう！！



○集団下校見守り隊の皆さん、今年もよろしくお願ひいたします。

例年、地域の民生児童委員さんらを中心として、有志の方々が集団下校の時に子どもたちと一緒に帰っていただく、集団下校見守り隊を結成してもらっています。今年度も、ご多用の中10月から来年3月までの奇数週、集団下校のある日に見守っていただける事になりました。本当にありがとうございます。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



10月に、来校いただいた
ひがなか「集団下校見守り隊」の皆さん

【森沢地区】三吉さん
【江ノ村・西の谷地区】瀬尾さん
【楠島地区】佐竹さん 松岡さん

